

● 最近3か年のモーターボート繰出金

単位：万円

会計名	年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
一般会計		0	0	0
特別会計	下水道事業	0	3億1,200	8億9,500
企業会計	水道事業	0	0	0
	病院事業	6億	0	0
合計		6億	3億1,200	8億9,500

●モーターボート競走事業  
特別会計  
年間の売上額は631億4200万円、前年度比14%の増、利用人員も29.9%の増となっています。  
問 8月2日から入場料が無料化になったが、入場者数はどのようになつたか。  
答 昨年と今年の8月のレースを比較すると、大幅に増加している。傾向としては若いカップルや女性のみ、家族連れのお客様が非常に増えたとみている。

●水道事業会計

経営収支の状況は、総収

益は8703万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は2億2349万円です。

●病院事業会計

経営収支の状況は、6億5060万円の純損失を計上し、当年度未処理欠損金は88億8990万円に増加しています。

条例の制定・改正

●市長、副市長、教育長の給料月額のカット

(第60・61号議案)

平成18年度、市民会館の指定管理者であった有有限会社イマジンの経営破綻により、年度途中で指定管理を取り消す事態が生じました。市民に迷惑をかけ、信用を損なった責任の一端を担うため、市長、副市長、教育長から平成19年10月に支給される1カ月分の給料のうち10%を自主的に減額する申し出があり、減額を行っています。

●市民会館に再び指定管理者制度を導入

(第66・68号議案)

平成20年4月1日から、市民会館の管理を再び指定管理者に行わせることになりました。  
今回は8月1日に蒲郡市指定管理者選定委員会を開催し、候補者として申請のあった8団体から総合点数方式により指定管理者を選定しました。その結果、豊川市の株式会社ピーアンドピーが指定管理者に選ばれました。同社は現在、勤労青少年ホームの指定管理者にもなっています。

●文教委員会での主な質疑

問 前回問題となった、指定管理料の支払いはどういう形態になるのか。

答 四半期ごとの実績払いとします。



蒲郡市民会館

意見書

- ②道路整備の促進と財源の確保を求める意見書  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣
- ③割賦販売法の抜本的改正に関する意見書  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣
- ④学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書  
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ⑤国の私学助成の増額と拡充に関する意見書  
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ⑥愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書  
愛知県知事  
(○内の数字は、意見書案番号。②は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

陳情

- 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書  
提出者 蒲郡市教員組合  
執行委員長 小田高久氏ほか  
362名  
審査結果 採択
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書  
提出者 酒井康子氏ほか2名  
審査結果 採択
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書  
提出者 酒井康子氏ほか2名  
審査結果 採択
- 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書  
提出者 酒井康子氏ほか2名  
審査結果 聞きおく